



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月7日
東

上場会社名 シップヘルスケアホールディングス株式会社 上場取引所
 コード番号 3360 URL <https://www.shiphd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 CEO (氏名) 古川 國久
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 横山 裕司 (TEL) 06-6369-0130
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	358,001	12.9	13,549	29.1	14,630	33.1	8,884	34.5
2019年3月期第3四半期	317,109	5.3	10,496	△9.2	10,991	△8.6	6,607	△5.7

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 9,807百万円(72.6%) 2019年3月期第3四半期 5,683百万円(△30.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	186.56	169.43
2019年3月期第3四半期	132.55	131.28

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	308,871	104,569	32.9
2019年3月期	299,212	97,734	31.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 101,617百万円 2019年3月期 95,420百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	70.00	70.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	75.00	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	466,000	4.9	18,500	3.1	19,300	4.1	11,800	5.0	247.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	50,834,700株	2019年3月期	50,834,700株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	3,264,927株	2019年3月期	3,204,535株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	47,624,076株	2019年3月期3Q	49,847,419株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・2020年3月期の連結業績予想の1株当たり当期純利益の計算の基礎となる期中平均株式数につきましては、2019年5月10日開催の取締役会決議に基づく自己株式の取得による影響を反映させております。
- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、堅調な企業収益を背景に雇用・所得環境の改善が続き、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、米中の貿易摩擦や中東情勢の緊迫等、世界経済の不確実性から景気の先行きは依然として不透明な状態が続いております。

当社グループの属する医療業界におきましては、医療の高度化・少子高齢化に伴い増加し続ける医療費を背景に医療制度改革が進められており、地域医療構想の実現に向けて医療機関・業界各社において中長期的に幅広い連携や効率的な業務体制の構築が求められております。

このような経済状況の下、当社グループにおきましては、昨年10月に実施された消費税増税の駆け込み需要及び反動減による影響を受けましたが、プロジェクト案件が順調に計上されるとともに、メディカルサプライ事業におきましても新規案件の獲得に努めたこと等により、業績は堅調に推移いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は358,001百万円（前年同四半期連結累計期間比12.9%増）、営業利益は13,549百万円（前年同四半期連結累計期間比29.1%増）、経常利益は14,630百万円（前年同四半期連結累計期間比33.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8,884百万円（前年同四半期連結累計期間比34.5%増）となりました。

セグメントごとの業績を示しますと次のとおりであります。

① トータルパックプロデュース事業

トータルパックプロデュース事業におきましては、特にメーカー系において消費税増税の駆け込み需要及び反動減による影響を受けましたが、プロジェクト案件が順調に計上されたこと等により、業績は堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は73,988百万円（前年同四半期連結累計期間比21.8%増）、セグメント利益（営業利益）は6,793百万円（前年同四半期連結累計期間比56.9%増）となりました。

② メディカルサプライ事業

メディカルサプライ事業におきましては、新規案件の獲得やSPD施設の運営効率化に努めた結果、業績は堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は241,359百万円（前年同四半期連結累計期間比11.9%増）、セグメント利益（営業利益）は3,546百万円（前年同四半期連結累計期間比13.9%増）となりました。

③ ライフケア事業

ライフケア事業におきましては、高い稼働率を維持した結果、業績は堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は17,876百万円（前年同四半期連結累計期間比0.7%増）、セグメント利益（営業利益）は1,326百万円（前年同四半期連結累計期間比1.2%増）となりました。

④ 調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、小規模のM&Aや継続的に経営効率化のための改善策を実施したこと等により、業績は堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は20,285百万円（前年同四半期連結累計期間比6.3%増）、セグメント利益（営業利益）は1,946百万円（前年同四半期連結累計期間比25.5%増）となりました。

⑤ その他

その他におきましては、動物病院の運営及びセキュリティサポート会社の業績は概ね計画通り推移いたしました。建物総合管理会社の株式取得関連費用を計上しております。

この結果、売上高は4,491百万円（前年同四半期連結累計期間比17.3%増）、セグメント利益（営業利益）は222百万円（前年同四半期連結累計期間比36.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産は308,871百万円となり、前連結会計年度末と比べて9,659百万円増加いたしました。その主な要因は、受取手形及び売掛金が8,376百万円減少した一方、現金及び預金が11,066百万円、投資有価証券が2,906百万円、商品及び製品が2,090百万円増加したこと等によるものであります。

負債は204,301百万円となり、前連結会計年度末と比べて2,824百万円増加いたしました。その主な要因は、未払法人税等が2,492百万円、長期借入金が1,548百万円減少した一方、支払手形及び買掛金が2,982百万円、電子記録債務が2,775百万円増加したこと等によるものであります。

純資産は104,569百万円となり、前連結会計年度末と比べて6,835百万円増加いたしました。その主な要因は、配当金の支払により利益剰余金が3,334百万円減少した一方、親会社株主に帰属する四半期純利益により利益剰余金が8,884百万円、その他有価証券評価差額金が973百万円増加したこと等によるものであります。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は32.9%（前連結会計年度末比1.0ポイント増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、概ね当初予定通りに推移しており、2019年5月10日に公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	72,393	83,459
受取手形及び売掛金	97,975	89,598
電子記録債権	3,232	4,310
リース投資資産	3,801	3,546
商品及び製品	14,034	16,124
仕掛品	1,471	2,037
原材料及び貯蔵品	648	932
その他	8,109	8,600
貸倒引当金	△95	△77
流動資産合計	201,571	208,534
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	18,907	18,785
土地	14,451	16,120
賃貸不動産(純額)	13,209	11,272
その他(純額)	8,084	10,259
有形固定資産合計	54,652	56,437
無形固定資産		
のれん	9,304	9,028
その他	1,029	984
無形固定資産合計	10,333	10,012
投資その他の資産		
投資有価証券	14,683	17,590
長期貸付金	9,531	7,880
その他	11,062	10,143
貸倒引当金	△2,624	△1,727
投資その他の資産合計	32,654	33,887
固定資産合計	97,640	100,337
資産合計	299,212	308,871

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	85,371	88,353
電子記録債務	20,772	23,547
短期借入金	1,030	1,003
未払法人税等	4,139	1,647
賞与引当金	2,032	960
その他	14,830	15,778
流動負債合計	128,176	131,291
固定負債		
新株予約権付社債	25,116	25,097
長期借入金	39,700	38,152
退職給付に係る負債	2,811	2,863
資産除去債務	628	835
その他	5,043	6,060
固定負債合計	73,300	73,010
負債合計	201,477	204,301
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,553	15,553
資本剰余金	23,921	23,895
利益剰余金	66,372	71,922
自己株式	△13,447	△13,728
株主資本合計	92,399	97,642
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,079	4,053
為替換算調整勘定	△84	△111
退職給付に係る調整累計額	26	33
その他の包括利益累計額合計	3,021	3,974
非支配株主持分	2,314	2,952
純資産合計	97,734	104,569
負債純資産合計	299,212	308,871

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	317,109	358,001
売上原価	285,144	322,009
売上総利益	31,965	35,992
販売費及び一般管理費	21,468	22,443
営業利益	10,496	13,549
営業外収益		
受取利息	216	300
受取配当金	135	236
負ののれん償却額	174	116
持分法による投資利益	20	33
為替差益	7	26
貸倒引当金戻入額	6	364
その他	233	239
営業外収益合計	794	1,317
営業外費用		
支払利息	195	203
社債発行費	26	—
その他	77	32
営業外費用合計	299	235
経常利益	10,991	14,630
特別利益		
固定資産売却益	58	194
特別利益合計	58	194
特別損失		
固定資産売却損	0	4
投資有価証券評価損	33	0
その他	1	1
特別損失合計	35	6
税金等調整前四半期純利益	11,013	14,818
法人税、住民税及び事業税	3,390	4,946
法人税等調整額	1,138	940
法人税等合計	4,528	5,886
四半期純利益	6,484	8,932
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△122	47
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,607	8,884

四半期連結包括利益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	6,484	8,932
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△836	973
為替換算調整勘定	1	△105
退職給付に係る調整額	33	7
その他の包括利益合計	△801	875
四半期包括利益	5,683	9,807
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,803	9,790
非支配株主に係る四半期包括利益	△119	17

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	トータル パック プロデュース 事業	メディカル サプライ 事業	ライフケア 事業	調剤薬局 事業	計				
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	60,762	215,681	17,751	19,086	313,281	3,828	317,109	—	317,109
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	1,466	894	139	1,404	3,903	190	4,094	△4,094	—
計	62,228	216,575	17,890	20,490	317,185	4,018	321,203	△4,094	317,109
セグメント利益	4,329	3,112	1,310	1,551	10,303	352	10,656	△159	10,496

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、動物病院事業、理化学機器販売事業、セキュリティ事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△159百万円には、セグメント間取引消去△65百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△96百万円等が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の営業費用及び報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

当第3四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	トータル パック プロデュース 事業	メディカル サプライ 事業	ライフケア 事業	調剤薬局 事業	計				
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	73,988	241,359	17,876	20,285	353,510	4,491	358,001	—	358,001
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	2,146	801	163	4,320	7,431	246	7,678	△7,678	—
計	76,134	242,160	18,039	24,606	360,941	4,738	365,679	△7,678	358,001
セグメント利益	6,793	3,546	1,326	1,946	13,612	222	13,834	△285	13,549

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、動物病院事業、理化学機器販売事業、セキュリティ事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△285百万円には、セグメント間取引消去△61百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△224百万円等が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の営業費用及び報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

当第3四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。